

第1回部長監督会議 最終結果

【1】前年度の部長監督会議であげられた問題についての対応

1. ダブルエントリーについて
2. リーグの入れ替え戦について
3. 夏大会の日程について
4. 新進の日程について
5. 室内の会場について
6. 学連を出している大学への特典について
7. ポイント制度について
8. 新入生評価基準について
9. オーダー規約について

【2】今年度からの変更点について

1. 大会の使用球について
2. 高校生との交流会について
3. リーグの日程について
4. 室内の出場資格について
5. ミニリーグについて

【3】その他、事前に頂いた FAX、メールでの部長・監督の方のご意見についての対応

1. 会計について

【4】質疑応答

1. 学連について
2. 主将主務会議について
3. 大学の一本化について

※青 枠：平成26年度8月の部長・監督会議でのご意見と学連の対応

緑 枠：平成27年度第1回部長・監督会議前に FAX,メールでいただいたご意見と学連の対応

オレンジ枠：平成27年度第1回の部長・監督会議でのご意見と学連の対応

赤 枠：部長監督会議後，学連で話し合った最終結果

【1】前年度の部長監督会議であげられた問題についての対応

3. 夏大会の日程について

〈前回の部長・監督会議でのご意見〉

- ①夏大会を試験期間に行っていたため、夏季休業中に行ってはどうか。
- ②予選と同じように土日で行うのはどうか。

〈学連〉

- ①夏季休業中には、インカレ、リーグ戦が行われるため、夏大会本戦を夏季休業中に行うのは日程的に厳しい。
- ②土日に行くことを考えたが、本戦会場を借りることができなかつたため、例年通りの日程で行う。

〈事前に FAX,メールでいただいた部長・監督の方のご意見〉

- ①大会による授業欠席をできる限り避けるため、本戦を土日に行ってほしい。

〈学連〉

- ①・H27 春大会本戦は土日に行くことはできない。
→マラソンなどのイベント、他の大会との関係
- ・H27 夏大会本戦は土日に行くことはできない。
→他の団体との関係
- ・大会を土日で行うならば、平成 28 年度以降、会場を変えるなどしていきたい。

〈今回の部長・監督会議でのご意見〉

- ①本戦を土日始まりにしてはどうか。
→半分くらいの学生が平日学校に行くことができる。
父兄も見に来ることができる。
同じ曜日の授業の欠席を 1 回にとどめたい。
- ②学連を増やし運営人数を確保すれば、インカレ後に夏大会本戦を行えるのではないか。
- ③会場を変えるのなら本戦をオムニコートではなく、クレーコートで行ってはどうか。(名城公園コートなど)

〈学連〉

- ①土日始まりになるように考えたが、会場を借りることができなかつた。
平成 28 年度以降、土日始まりにできるよう日程を組みたい。
- ②夏大会の時期に関しては学連で話し合う。
- ③会場、サーフェスに関しては学連で話し合う。

〈最終結果〉

- ・夏大会を夏季休業中に行うことはできない。
→平成 28 年度以降は、交流会をインカレ後に行うため。
- ・春大会以外の大会のサーフェスはオムニとする。
→クレーコートで練習している大学が少ないため。
- ・本戦前半の 4 日間を土日に大学コートで男女別に行い、後半 3 日間を平日で施設を借りて行う予定。
→会場を変えることを考えたが、利用できる会場があまりないため。

5. 室内の会場について

〈前回の部長・監督会議でのご意見〉

- ①室内大会を愛知県体育館より会場費のかからない岐阜メモリアルセンターで行えばよいのではないかと。

〈学連〉

- ①今年度の室内大会は第 50 回目となるため、記念として昨年まで使用していた愛知県体育館で行う。

〈事前に FAX,メールでいただいた部長・監督の方のご意見〉

- ①破産状態でもあるのにもかかわらず、室内大会を 50 回記念という理由により愛知県体育館で行うのは納得がいかない。

〈学連〉

- ①・昨年（平成 26 年）、室内大会を岐阜メモリアルセンターで行うのはどうかというご意見をいただき、メモリアルセンターの会場を取っていたが、東海学生テニス連盟会長竹村さんの第 50 回目は愛知県体育館で行ってほしいというご意見から今年度は、愛知県体育館で行うこととした。
・来年度以降、室内大会は岐阜メモリアルセンターなどの会場で行う。

〈今回の部長・監督会議でのご意見〉

- ①エントリー費を上げてまかなうのは間違っているのではないかと。
②記念大会ということでどこかの企業から献金をもらうのはどうか。

〈学連〉

- ①・エントリー費を上げたのは増税分。
・メモリアルセンターを 1 度、断ってしまっているため、今年度の室内大会は愛知県体育館で行う。
・来年度以降は会場を変える方針。
②企業に献金をいただくかどうかについては、学連で話し合う。

〈最終結果〉

- ・今年度は、愛知県体育館で行う。
→一度、岐阜メモリアルセンターを断り、愛知県体育館にお願いしたため。
・企業に献金をいただくのは厳しい。
→企業にとってメリットがないため。

7. ポイント制度について

〈前回の部長・監督会議でのご意見〉

①インカレのポイントを付けたほうがいいのではないか

〈学連〉

①インカレ、インカレインドア出場者に対し、ポイントをつけることにした。

※インカレインドアの出場資格は全日本学生ランキング上位者、各地域学生テニス連盟が推薦する選手であり、推薦選手も含まれるため、インカレのポイントの半分程度のポイントをつけることにした
ポイントは次頁の通り。

シングルス

	96	64	32	16	8	4	2	1
東海学生チャレンジテニストーナメント大会				1	2①	4②	8④	10⑥
東海学生新進テニス選手権大会		4	8	15	25	50	65	80
東海学生春季テニストーナメント大会		20	40	90	160	300	400	500
東海学生テニス選手権大会		20	40	90	160	300	400	500
全日本学生テニス選手権大会本戦	10	20	40	90	160	300	400	500
全日本学生テニス選手権大会予選						2	4	8
全日本学生室内テニス選手権大会本戦				45	80	150	200	250
全日本学生室内テニス選手権大会予選					1	2	4	8
東海学生選抜室内テニス選手権大会本戦				45	80	150	200	250
東海学生選抜室内テニス選手権大会予選					10	15	20	25

ダブルス

	48	32	16	8	4	2	1
東海学生チャレンジテニストーナメント大会				1	2①	4②	6④
東海学生新進テニス選手権大会		4	8	15	25	45	60
東海学生春季テニストーナメント大会		20	40	80	150	200	250
東海学生テニス選手権大会		20	40	80	150	200	250
全日本学生テニス選手権大会本戦	10	20	40	80	150	200	250
全日本学生テニス選手権大会予選					2	4	8
全日本学生室内テニス選手権大会本戦				40	75	100	125
全日本学生室内テニス選手権大会予選				1	2	4	8
東海学生選抜室内テニス選手権大会本戦				40	75	100	125
東海学生選抜室内テニス選手権大会予選				10	15	20	25

〈事前に FAX,メールでいただいた部長・監督の方のご意見〉

- ①インカレは東海学生の大会より大きな大会であり、優勝者に 2000 ポイント程度与えても良いのではないか。
- ②インカレインドアは推薦選手が含まれるためインカレの半分のポイントというのは、予選は当てはまるが、本戦は当てはまらない。

〈学連〉

- ①H26 2月主将主務会議で①インカレのポイントをつける②インカレのポイントはつけない の2択で多数決を取ったところ、①17票、②31票でインカレのポイントを付けないことが決定した。②の理由はポイントの差が開いてしまうからというものだった。しかし、その後学連で話し合い、東海学生の大会で好成績を残し、インカレ、インカレインドアに出場した選手に対し、ポイントをつけるべきであるという考えから2大会のポイントをつけることとした。ポイントの付け方を考える際、関東、関西でのポイントの付け方（春の大会の約2倍のポイントをインカレ優勝者に与える）を参考にした
 が、それでは、ポイント差を広げたくないという学生の意見を考慮しないことになってしまうため、東海では上記のとおりポイントをつけることとした。
- ②インカレインドアに対しては、部長・監督さんから推薦選手が含まれるためインカレの半分のポイントにしたというのは予選にしか当てはまらないということを指摘していただき、学連で再度話し合い、以下のようにポイントをつけた。（青文字）

シングルス

	96	64	32	16	8	4	2	1
東海学生チャレンジテニストーナメント大会				1	2①	4②	8④	10⑥
東海学生新進テニス選手権大会		4	8	15	25	50	65	80
東海学生春季テニストーナメント大会		20	40	90	160	300	400	500
東海学生テニス選手権大会		20	40	90	160	300	400	500
全日本学生テニス選手権大会本戦	10	20	40	90	160	300	400	500
全日本学生テニス選手権大会予選						2	4	8
全日本学生室内テニス選手権大会本戦				90	160	300	400	500
全日本学生室内テニス選手権大会予選						2	4	8
東海学生選抜室内テニス選手権大会本戦				45	80	150	200	250
東海学生選抜室内テニス選手権大会予選					10	15	20	25

ダブルス

	48	32	16	8	4	2	1
東海学生チャレンジテニストーナメント大会				1	2①	4②	6④
東海学生新進テニス選手権大会		4	8	15	25	45	60
東海学生春季テニストーナメント大会		20	40	80	150	200	250
東海学生テニス選手権大会		20	40	80	150	200	250
全日本学生テニス選手権大会本戦	10	20	40	80	150	200	250
全日本学生テニス選手権大会予選					2	4	8
全日本学生室内テニス選手権大会本戦				80	150	200	250
全日本学生室内テニス選手権大会予選					2	4	8
東海学生選抜室内テニス選手権大会本戦				40	75	100	125
東海学生選抜室内テニス選手権大会予選				10	15	20	25

〈今回の部長・監督会議でのご意見〉

①インカレインドアのポイントをつける。

- ・インカレ優勝者と春夏優勝者はレベルが違う。
- ・インカレとインドアは同じポイントにするべきでないか。
- ・インドア予選はインカレインドア予選のレベルを上げるべきではないか。(10.20.40)
- ・推薦選手には勝ったらポイントをあげるのはいかがでしょうか。

②インカレ、インドアのポイントはつけなくてよい。

- ・全日本には全日本のポイントがあるのに、東海のポイントをつける必要があるのか。
- ・インカレインドアのポイントをつけるとすると、上位の人のランキングが変わらなくなる。
- ・インカレポイントをつけないにしても次大会のシード会で参考にするべきではないか。

〈学連〉

①②インカレ、インドアのポイントに関しては学連で話し合う。

〈最終結果〉

- ・インカレ、インカレインドアで成績を残した選手にポイントをつけることとする。

→インカレに出場していることに価値があるため。

東海のレベルを明確にするため。

9. オーダー規約

〈前回の部長・監督会議でのご意見〉

- ①11.本戦出場者 12.予選決勝進出者 13.無資格 にしてはどうか
 - ②夏大会と春大会のどちらを優先させるか考えたほうがいいのではないか (2.3、6.7,9.10)
 - ③夏大会と春大会のよい成績を優先した方がいいのではないか (2.3、6.7、9.10)
- (参考)

全日本大学対抗テニス王座決定試合東海地区予選
東海大学対抗テニスリーグ戦 オーダー規約

選手出場順位は以下の規定に基づくものとする。

(1) シングルス

- 1.前年度全日本学生単ランキング TOP 10 プレーヤー
 - 2.本年度東海学生テニス選手権大会 単優勝者
 - 3.本年度東海学生春季テニストーナメント大会 単優勝者
 - 4.前年度全日本選手権 本戦単出場プレーヤー
 - 5.前年度全日本選手権 予選単出場プレーヤー
 - 6.本年度東海学生テニス選手権大会単本戦男子準優勝者・女子準優勝者～ベスト8進出者
 - 7.本年度東海学生春季テニストーナメント大会単本戦男子・女子準優勝者～ベスト8進出者
 - 8.前年度東海学生単ランキング TOP 10 プレーヤー
 9. 本年度東海学生テニス選手権大会 単本戦男子・女子ベスト16進出者
 - 10.本年度東海学生春季テニストーナメント大会 単本戦男子・女子ベスト16進出者
 11. 無資格者
- *1は、試合前一週間を切らずに全日本学生単ランキングが更新された場合、更新された全日本学生単ランキングを適用とする。
- *1.8は明らかに順位が上のものを上位とする。
- *4.5.6.7.9.10は、当該大会において明らかに成績が上のものを上位とする。

〈学連〉

- ①H26 2月の主将主務会議で①オーダー規約に本戦出場者を入れる②本戦出場者、予選決勝進出者を入れる、③現状通りの3択で多数決を取ったところ、③現状通りに決定した。また、H26 11月の主将主務会議で①1ポイントでも持っていたらポイント順にオーダーを組む、②春大会、夏大会の本戦ベスト16以上のポイント(90ポイント以上)を持っていたらポイント順位にオーダーを組む、③現状通りの3択で多数決を取ったところ、①1票、②6票、③43票となり、③現状通りに決定した。よってオーダー規約は変更しない。
- ②③オーダー規約2.3、6.7、9.10の春大会、夏大会のどちらを優先するかについては、前年度の主将主務会議話し合わなかったため、今年の主将主務会議(11月の予定)で話し合うこととする。

〈事前に FAX,メールでいただいた部長・監督の方のご意見〉

- ①規約の意図は強い順に対戦することで真の勝敗を明らかにするという考え方であり、2部以下にも適応されるべきである。
- ②当事者の多数決で単純に決めるべきものではない。
- ③春大会、夏大会は同列に扱っていいのではないか。
- ④11月の主将主務会議で決めるのでは今年のリーグに間に合わない。

〈学連〉

①②③④

今年度のリーグ戦では、現状通りのオーダー規約を用いようと動いていたため、今年の11月に行う主将主務会議でオーダー規約において春大会、夏大会をどのように扱うかについて話し合おうと考えていた。しかし、他の部長・監督の方のご意見を参考にし、学連で再度話し合い、変更するならば今年度から変えられるよう動いていきたい。

〈今回の部長・監督会議でのご意見〉

- ①春、夏を同じ基準にして入れ替え可能にしたらどうか。(2.3、6.7、9.10)
- ②2部以下にきちんとした団体戦を行うためには予選決勝者、本戦出場者も規定に入れた方がよいのではないかと。固定が2、3人いる大学と固定がない大学が戦うと、固定に捨てゴマをあてるため、意味がない。
- ③予選はいらない、本戦出場もいらない。

〈学連〉

- ①②③オーダー規約に関しては学連で話し合う。

〈最終結果〉

- ・春大会、夏大会は同じ基準とする。
- ・オーダー規約に本戦出場者、予選決勝進出者を加えることとする。

【2】今年度からの変更点について

3. 1部リーグの日程について

- ・今年度のリーグ戦は以下の日程で行う（別紙参照）

9/7 開会式 午後
8 第1戦（男女）
9 第2戦（男女）
10 予備日
11 第3戦（男女）
12 第4戦（男女）
14 第5戦（男女）
15 予備日
16 予備日

- ・天候が悪く、試合ができなかった場合、日程を1日ずらす。
- ・練習コートは予備日のみ用意する予定。
東院大、朝日大に予備日にコートを借りることができるか確認し、借りられるようならば、1部リーグエントリー会時に練習コートを使用したいかの希望をとる。

〈今回の部長・監督会議でのご意見〉

- ①9/8の朝に開会式を行ってほしい。

〈学連〉

- ①9/8の朝に開会式を行い、試合がすべて消化できないと日程がずれてしまう可能性があるため、9/7に午前10時からAコートにて開会式、午後1時から5時までBコートにてプラクティス（学連がプラクティス割を組む）を行う予定。

〈最終結果〉

9/7 開会式 午前10時～（午後プラクティス）
8 第1戦（男女）
9 第2戦（男女）
10 予備日
11 第3戦（男女）
12 第4戦（男女）
14 第5戦（男女）
15 予備日
16 予備日

【4】 質疑応答

1. 学連について

〈今回の部長・監督会議でのご意見〉

- ①1部校が学連の2/3を占めている。
大会に参加している大学は学連を出すべき。

〈学連〉

- ①『東海学生テニス連盟規約 第12条 委員はリーグ戦に於ける男女1,2部校より各1名ずつ及び他校より若干名選出するものとする。』に基づき、学連を選出しているため、1部校が学連の2/3を占めている状態になっている。
学連選出方法に関しては、学連で話し合う。

〈最終結果〉

- ・『東海学生テニス連盟規約 第12条 委員はリーグ戦に於ける男女1,2部校より各1名ずつ及び他校より若干名選出するものとする。』に基づき、基本的に1,2部校より学連を選出する。その他の学連は、コートを借りる大学に限らず、すべての大学から平等に選出する。

3. 大学の一本化

〈今回の部長・監督の方のご意見〉

- ①大学で団体登録をすべきではないか。
王座に行くのは1大学。
例えば、愛知学院大学と愛知学院大学歯学部が決勝戦をやったらどうなるの？
内部のことは各大学に任せればよい。
- ②東海海洋のような地域が異なる大学はどうするのか。
地域内に一つにしてはどうか。
- ③全日とも話し合う必要があるのではないか。

〈学連〉

- ①②③ 大学の一本化に関しては学連で話し合いたい。

〈最終結果〉

- ・現状維持
→他地域も1つの大学から別の団体として登録しているところがあるため。